

町道愛媛団体通道路改良舗装工事

1億219万円

(担当：建設課土木計画係)

この路線は市街地から真狩橋を通り、里見地区コミュニティセンター方向の国道5号線へ通じる道路です。この事業は、平成14年度から国の補助を受けて行い、今年度で全線完成の予定です。

なお、真狩川橋の架け替えとその前後の路盤改良工事は北海道が行います。

事業の内容

改良舗装工事 距離240m、車道幅5.5m

舗装工事のみ 距離226m、車道幅5.5m

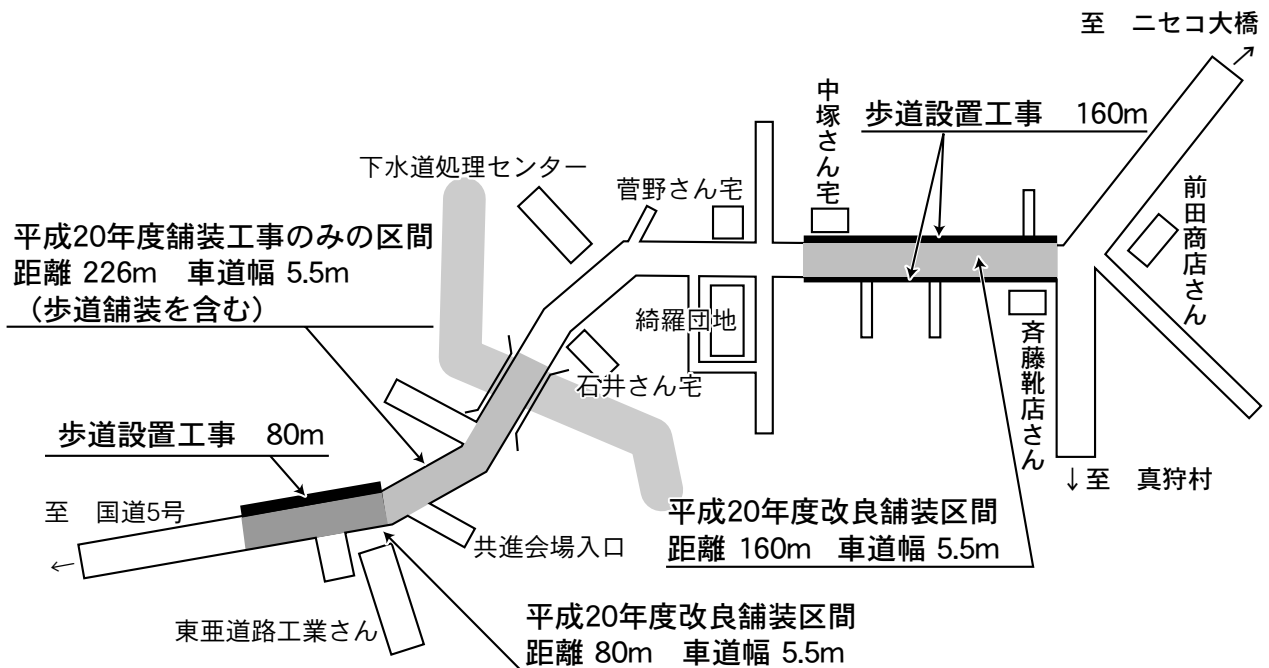
歩道工事 距離(両側) 160m・(片側) 80m、歩道幅2.5m

工事区間 道道岩内洞爺線交差点から中塚さん宅地先までの160mの区間と東亜道路工業さん地先から共進会場入口付近までの80mの区間、真狩川橋の前後の舗装工事を行います
北海道は真狩川橋の前後の改良工事及び旧橋の撤去工事を行います

工事の予定時期：6月～12月

財源

国の補助額	5,500万円
ニセコ町の負担額	4,719万円
(うち借金〔町債〕)	4,500万円)



II 環境・景観

4 道路、公共交通

町道元町旧国道線改良舗装工事

2,590万円

(担当：建設課土木計画係)

この路線は、道道岩内洞爺線の元町地区から国道5号の有島地区を結ぶ町道です。道道交差点から深貝橋までの区間の沿線には民家や事業所があり、未改良のため路面の傷みが激しいことから2年間の計画で改良舗装工事を行います。

事業の内容

改良舗装工事 距離160m、車道幅5.5m

用地確定測量 距離250m

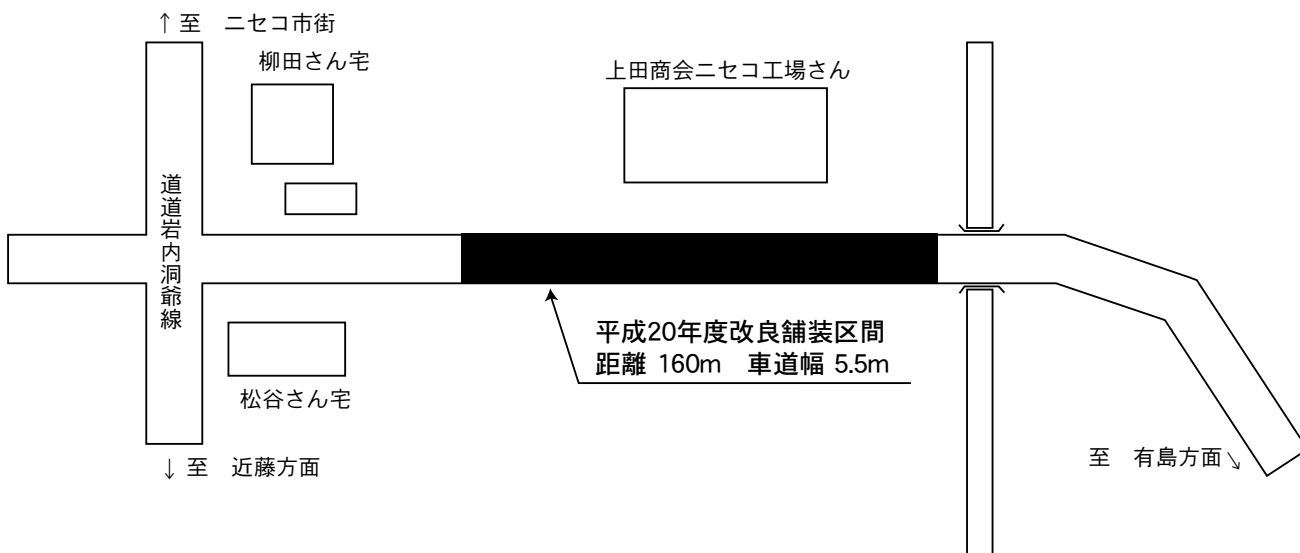
用地の取得

工事区間 道道岩内洞爺線交差点から上田商会さんに向かって140mの地点から深貝橋までの160mの区間

工事の予定時期：6月～11月

財源

町の負担額	2,590万円
(うち借金[町債])	2,590万円)



町道食肉センター通改良舗装工事

1,031万円

(担当：建設課土木計画係)

今年度着工する新しい給食センター建設に伴い、配送車などの通行の安全と防塵、荷崩れ防止のため町道ニセコ中学校前通の交差点から建設敷地までの改良舗装工事を行ないます。

事業の内容

改良工事 距離120m、車道幅5.0m

舗装工事 距離80m、車道幅5.0m

用地確定測量 距離80m

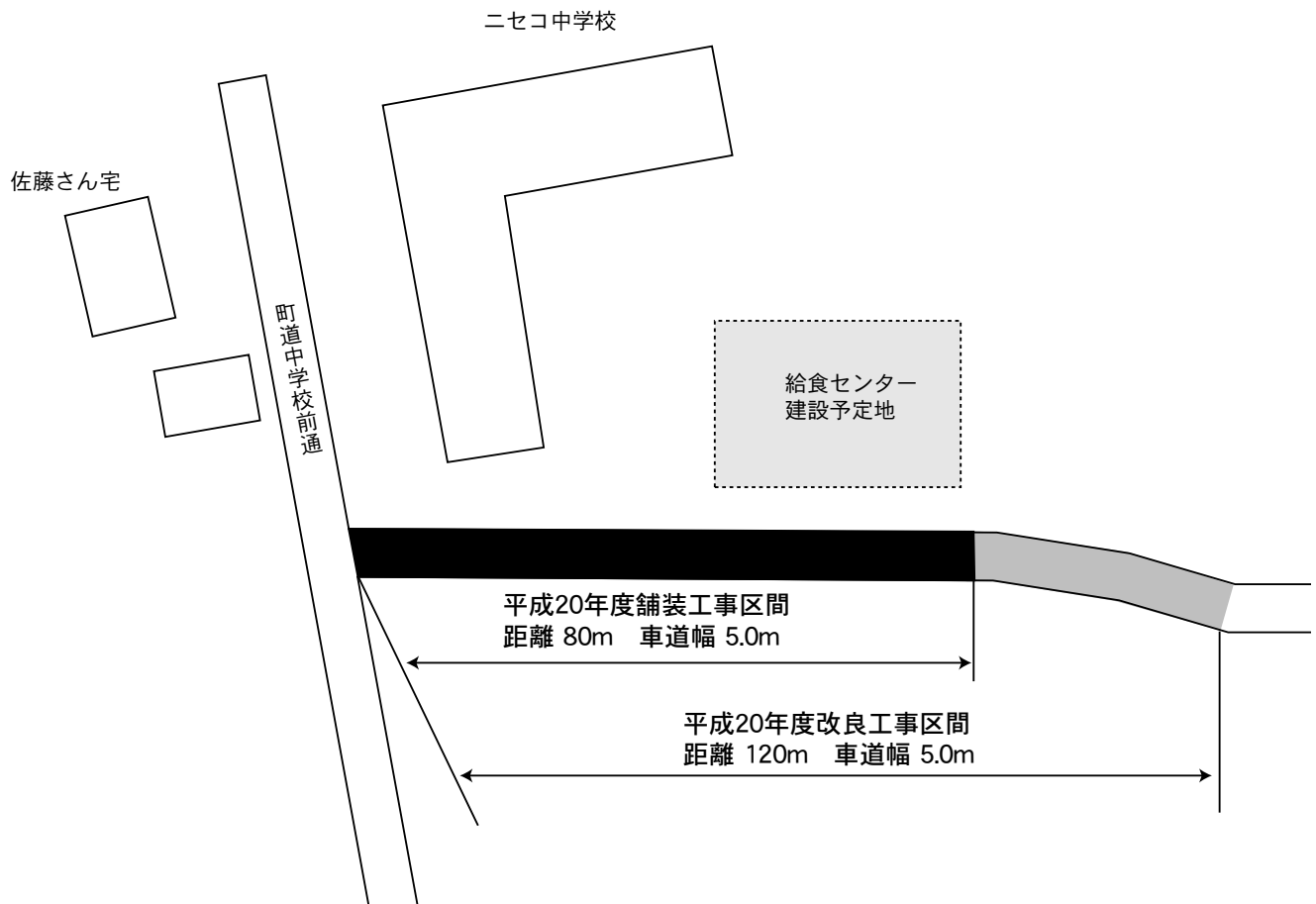
用地買収

工事区間 ニセコ中学校前の通りとの交差点から給食センター建設予定地に向かって120m（舗装工事は80m）の区間

工事の予定時期：5月～7月

財源

町の負担額	1,031万円
（うち借金[町債]	1,030万円)



II 環境・景観

4 道路、公共交通

サイレン坂歩道補修工事 200万円

(担当：建設課土木計画係)

昨年9月の大雨により崩れた、商工会からJRニセコ駅に向かう通称「サイレン坂」周辺の小規模治山事業（34ページ）実施に合わせて、歩道の補修工事を行います。

事業の内容

歩道補修工事 1式

補修工事の予定時期：8月～10月



サイレン坂

道路の維持管理 525万円

(担当：建設課管理係)

みなさんが道路を安全に通行できるように、道路の草刈や側溝の清掃整備、砂利道の維持補修などの維持管理業務を民間事業者へ委託して実施します。

主な経費

町道維持管理委託料

452万円

補修原材料

73万円



道路脇の草刈作業の様子

道路舗装補修、区画線補修 580万円

(担当：建設課管理係)

町道を安全に通行できるように、傷んだアスファルト舗装の補修やはがれて見えにくくなったセンターラインの補修を行います。

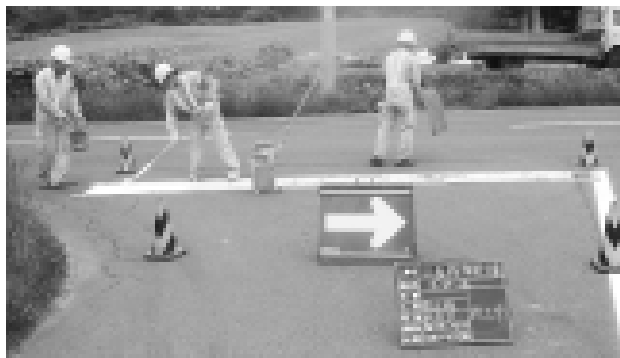
主な経費

舗装補修

300万円

区画線補修

280万円



区画線補修作業

北海道横断自動車道建設促進事業 3万円

(担当：企画課経営企画係)

黒松内～小樽間の高速道路実現のため「北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会」に参加し、各種行事や要望活動を行います。

主な経費

旅費、期成会負担金

3万円

北海道新幹線建設促進事業 4万円

(担当：企画課経営企画係)

北海道新幹線実現のため「北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会」に参加し、各種行事や要望活動に参加します。

主な経費

旅費、期成会負担金

4万円

II 環境・景観

4 道路、公共交通

町内循環バス「ふれあいシャトル」運行補助

1,733万円

(担当：企画課経営企画係)

町民みなさんのバス交通の利便性を図るため、平成14年度から町内循環バス「ふれあいシャトル」を運行しています。

町では、昨年度立ち上げた「循環バス運行検討委員会」で検討を行い、このバス路線を観光面に活用する可能性を考えました。そこで今年度は、平成19年度にデザインを募集した沿線の観光情報が掲載されたシャトルバス路線マップを発行します。また、今年度からBDF（バイオディーゼル燃料）の使用を再開することから、家庭から出る使用済食用油の回収場所を設置し、資源循環を進めます。

主な経費

補助金	1,726万円
BDF用廃油回収ポリタンク・看板	7万円

■ふれあいシャトルの全体運行経費	5,353万円
運行経費の内訳	
スクールバス運行事業委託料	3,343万円
(消費税抜き)	
高校生の通学運営委託費補助	84万円
予想運賃収入	200万円
ニセコ町からの補助金	1,726万円



今年度から観光面への活用として自転車の搭載も行います

生活バス路線維持費補助 274万円

(担当：企画課経営企画係)

自家用車を使えない人にとって大切な生活バス路線は、過疎化や自家用車の普及で乗客の減少が続き、路線の維持が困難になっています。そのため町では、民間バス事業者に対して赤字額の一部を助成し、生活バス路線の維持に努めます。

あわせて現在の補助路線について、利用状況の調査やふれあいシャトル便での代用など、見直し作業を進めます。

■補助の対象路線：福井線（ニセコ～蘭越間）

主な経費

補助金	274万円
-----	-------

※赤字額の1割を北海道が、9割をニセコ町が補助します

財源

特別交付税算入額	219万円
ニセコ町の負担額	55万円

※事業費の8割が特別交付税の対象となります

ヘリポート維持管理事業 80万円

(担当：建設課管理係)

公共用空港として利用されるニセコヘリポートの維持管理に必要な経費です。

主な経費

浄化槽、消防設備保守点検	32万円
電気料、水道料	21万円
その他経費	27万円

財源

ヘリポート使用料	21万円
ニセコ町の負担額	59万円



ヘリポートは災害が発生した時に重要な役割を果たします